



JAPAN FOUNDATION

国際交流基金

報道関係各位
プレスリリース



JAPAN FOUNDATION

2017年11月8日
No. 2017-046-1/2

アジアの日本語教育を支援する“日本語パートナーズ”派遣事業 派遣者数が 1,000 人を突破 2017 年度最終募集は 11 月 8 日開始

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、ASEAN 諸国を中心とするアジアの中等・高等教育機関などで、現地の日本語教師と学習者のパートナーとして、各国の日本語教育を支援する“日本語パートナーズ”派遣事業を実施しています。派遣開始から 4 年目を迎え、この度、“日本語パートナーズ”の派遣人数が 1,000 人を突破したことをお知らせいたします。



“日本語パートナーズ”活動風景（写真左：インドネシア、写真右：フィリピン）

“日本語パートナーズ”派遣事業は、2013 年の日・ASEAN 特別首脳会議において日本政府が発表した新しいアジア文化交流政策「文化の WA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」の一環として、国際交流基金アジアセンターの立ち上げと同時に、開始されました。事業は今年で 4 年目を迎え、現地への派遣人数は、2014 年に 100 人で始まり、2015 年度が 170 人、そして 2016 年度が 364 人で、昨年度までで合計 634 人を派遣してきました。その間、派遣先も広がり、当初の 5 か国（インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン）から、現在は 12 か国・地域（インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン、ミャンマー、シンガポール、カンボジア、ラオス、ブルネイ、台湾、中国）にまで広がっています。

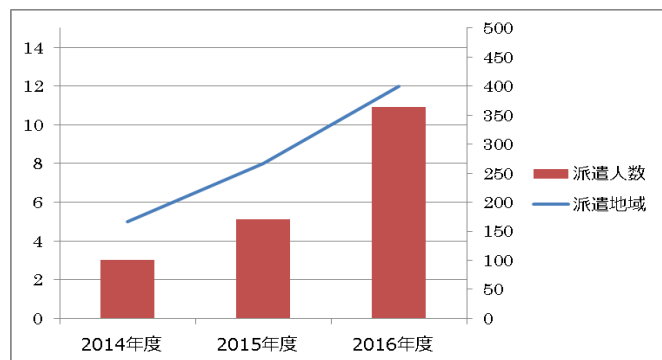
10 月 31 日現在、今年度これまで派遣した人数は過去最多の 367 人で、1,001 名に達しています。国際交流基金では、2020 年までに 3,000 人の“日本語パートナーズ”をアジアに派遣し、双方向交流の担い手として活躍することを目指しています。

今年度最後となる“日本語パートナーズ”の募集は、11 月 8 日（水）から開始します（募集概要は次頁を参照）。

日本語パートナーズの派遣者数・派遣先の推移

年度	派遣人数	派遣先
2014 年度	100	5
2015 年度	170	8
2016 年度	364	12
2017 年度 (10月31日現在)	367	12
合計	1,001 人	-

※2017 年度末には、合計 1,200 人を超える予定。



主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金アジアセンター日本語事業第 2 チーム（担当：橋本、佐々木）

Tel: 03-5369-6136

取材に関するお問い合わせ：コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

■“日本語パートナーズ”新規募集について

募集期間：11月8日（水）～12月18日（月）

派遣地域・期間：フィリピン（2018年7月上旬～2019年3月中旬）	15名
ベトナム（2018年8月下旬～2019年6月中旬）	30名
台湾（2018年9月中旬～2019年3月下旬）	15名
インドネシア（2018年9月中旬～2019年3月下旬）	50名
カンボジア（2018年10月上旬～2019年7月下旬）	1名

募集に合わせ、11月4日（土）から12月3日（日）にかけて、東京・大阪をはじめ、全国各地で“日本語パートナーズ”募集説明会を開催します。説明会日時・会場等はウェブサイト（<http://jfac.jp/partners/event/>）にてご確認ください。

多くの方々に“日本語パートナーズ”事業に参加していただき、アジアと日本の架け橋になっていただくことを期待しています。

■“日本語パートナーズ”派遣事業について

日本語パートナーズ派遣事業は、2014年度より、20歳から69歳までの幅広い世代の人材を“日本語パートナーズ”としてASEAN諸国を中心とするアジアの中等・高等教育機関等に派遣し、授業のアシスタントを行うとともに、教室内外での日本語・日本文化紹介等を行い、アジアの日本語教育を支援しています。また、パートナーズ自身も派遣先の文化・言語を学んで相互理解を深め、派遣先で学んだことを積極的に日本に伝えています。

2014年から2016年の間に、“日本語パートナーズ”は、のべ21万人の生徒に対する日本語教育に従事し、生徒・教師・地域住民のべ36万人が“日本語パートナーズ”と交流しています。平成28年度に受入校に実施した調査では、99.7%の受入校がパートナーズの活動を有意義であるとして、その活動を高く評価しています。また、“日本語パートナーズ”がいることで、「わからないときにすぐ質問できる」、「日本文化を直接学べる」といった声も上がっています。

詳細については、ウェブサイト（<http://jfac.jp/>）をご覧ください。

以上